



特別編集

沿線とともに成長し、世代を超えて愛される



つくば

TX



エクスプレス



鉄道もまちも進化中！
TX大解剖



住みたいエリア満載！
沿線ガイド

千代田区
台東区
荒川区
足立区
八潮市
三郷市
流山市
柏市
守谷市
つくばみらい市
つくば市



開業20周年

**地域の皆様との
コラボにより、
進化を続ける鉄道**



松尾芭蕉

**TXラバーズ
インタビュー**



P30…TXラバーズ インタビュー

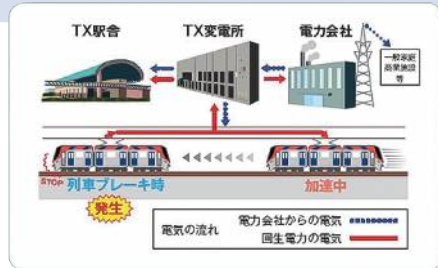
最先端の科学技術に触れられる
つくば市。つくば駅周辺には世
界に誇る研究機関が点在

取組 3 回生エネルギーを有効活用！

列車がブレーキをかけた時に発生する回生電力を、走行中のほかの列車で再利用して省エネ化を実現。鉄道用としては初めてとなるパルス幅変調方式の電力変換装置(PWM変換器)を採用することで、回生電力を駅の照明や設備などの動力・電源として再利用している。さらに、余剰となる電力は、電力会社に供給している。



回生電力はTX駅のエレベーターやエスカレーター、冷暖房などに有効利用される



取組 5 高架下の活用で新スペースが続々誕生！

皆様のライフスタイルの一部になるような事業を展開しています



TXの高架下は、複合商業施設「TXアベニュー」をはじめ、「こかげテラス」「柏の葉かだし横丁」、子育て支援施設、民間児童・児童保育所などに利用されている。沿線の活性化や沿線全体の成長など、地域とともに沿線価値のさらなる向上に取り組んでいる。



2022年、流山おおたかの森駅南側高架下に誕生したポタニカルパーク「GREEN PATH」



八潮駅高架下にある「やしお子育てぽっとステーション」



2025年5月から販売開始！柏の葉かだし横丁オリジナルドリンク「No.4」。横丁から柏市全域へ販売予定

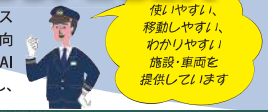


柏の葉キャンパス駅北側高架下にある「柏の葉かだし横丁」



取組 4 誰もが安心して利用できるナビを導入

つくば駅とつくばセンターバスターミナル間に、視覚障がい者向けナビゲーションシステム「shikAI(シカイ)」を設置。導入に際し、筑波技術大学の協力のもと、実証実験を実施した。点字ブロック上に表示された二次元コードを専用アプリで読み取ると、目的地まで音声で案内してくれる。さらに、「手話CG動画」を活用した運行情報配信に関する実証実験も実施している。



手話CG動画(イメージ)。公共交通機関の情報配信として手話CGを活用する取組は全国初

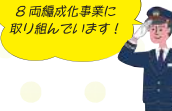


つくば駅設置のshikAIは鉄道とバスが相互連携した全国初の取組

使いやすい、移動しやすい、わかりやすい施設・車両を提供しています

取組 1 最新設備でデビューした「進化する鉄道」

混雑緩和対策として8両編成化事業に取り組んでいます！



線路への転落防止のため、開業当初から全駅にホームドアを設置



快適な乗り心地の幅広車体

「安全・安定・安心」輸送を目指し、道路との完全立体交差で踏切ゼロ、最長18.2kmのロングレールで快適な乗り心地を実現している。ATO(自動列車運転装置)によるワンマン運転や、自動的にブレーキが作動するATC(自動列車制御装置)を導入し、安全を確保している。

取組 2 地磁気擾乱に配慮した対策

地球がもつ固有の磁場(地磁気)を観測する気象庁の施設「地磁気観測所」に影響のないシステムを採用。つくば駅の北東約18kmの地点に気象庁柿岡地磁気観測所(茨城県石岡市)があり、直流電流ではレールから漏れる電流が測定に影響を及ぼすため、守谷～つくば間は交流電化に切り替わる。



車両は直流専用のTX-1000系、交流用のTX-2000系、TX-3000系がある

地磁気観測所から半径35km程度が直流電化規制圏のため、守谷～みらい平で電化方式が切り替わります



沿線とともに成長！

世代を超えて愛されるTX

新型車両 TX-3000 系はグッドデザイン賞 2020 を受賞

地域密着型の鉄道として、「安全・安定・安心」輸送の確保、環境への配慮、快適なお客サービスの実現する、さまざまな取組をピックアップ！

2024年12月、「TX
アベニュー八潮」
がリニューアル
オープン



2024年3月

八潮駅に新たに快速列車が
停車

4月

首都圏新都市鉄道乗務員
養成所を開所

2019年11月

全駅に多言語拡声装
置・AI通訳機を導入

2018年3月

全駅に無料 Wi-Fi サービス
が拡大



2018年11月、流山おおたかの
森駅に商業施設「こかげテラ
ス」がオープン



電動水平引き
シャッター

2017年3月

守谷駅～総合基地間の
出入庫線を複線化

9月

車両の補修や設備を交換
する車体更新場が完成
★電動水平引きシャッター
が世界記録認定

2007年1月

早期地震警報システム導入

2013年8月

省エネ運転(惰行制御を取り
入れた自動列車運転)を開始

2020

2010

2025年8月

祝 つくばエクスプレス
開業20周年

▶20周年に関するNEWSは
P10をチェック



2020年3月

新型車両 TX-3000系が営業運
転開始

2015年8月

つくばエクスプレス開業
10周年。初めて制服を
リニューアル

新マスコット
キャラクターが
誕生!



2012年8月

二次増備車両3編成
運転開始

9月

南流山駅ホーム延伸
秋葉原駅の出口等増設

2008年8月

一次増備車両4編成
運転開始

2005年8月
つくばエクスプレス
開業



2003年10月

駅の名称を決定

2005年2月

公募により、イメージキャ
ラクターの名前が「スピー
フィ」に決定
開業日が「2005年8月24
日」に決定

スピーフィ Profile

誕生日:2004年12月1日
性格:そこぬけに明るい
特技:時速130kmで走ることが
できるパワーを持っている
特徴:顔の部分のサンバイザーを
下ろすとヘルメットのようになる



写真提供: 鉄道・運輸機構

2004年5月

北千住駅においてレール締結式

11月

全線走行試験(11月～翌年8月)

1991年3月

「首都圏新都市鉄道株式会社」
設立

1985年7月

国の審議会の答申で人口増加
による社会問題を受け、常磐
新線の整備が都市交通対策に
おいて喫緊の課題と位置付け
られた

1989年6月

「大都市地域における宅地開発
及び鉄道整備の一体的推進に
関する特別措置法(一体化法)」
が成立(同年9月施行)

2000

2001年2月

鉄道路線の新名称を
「つくばエクスプレス」に決定

1994年10月

秋葉原において起工式
写真提供: 鉄道・運輸機構



地域とともに成長してきた軌跡を振り返る

TXヒストリー



2025年8月で、TX開業から20周年。

開業以来、急速な発展を遂げてきたつくばエクスプレスのあゆみをたどってみよう。

秋葉原駅



2025年6月
近年はITの拠点としてオフィス化が進み、高層ビルが立ち並ぶように。

柏の葉キャンパス駅

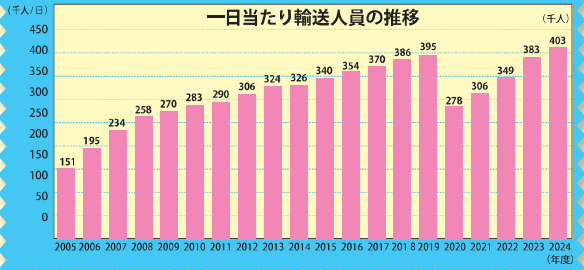


2025年6月
公・民・学が連携するまちとして、住宅や商業施設、オフィスビルなどが集結。



開業から急成長！
輸送人員も年々増加

開業から順調な運行を続けるTXは、沿線人口の増加に伴い、輸送人員も堅調に伸びている。2020年度以降はコロナ禍の影響を受けたものの、2024年度は1日当たりの輸送人員がコロナ禍以前の水準に戻った。



ここまで変わった
沿線のまち

特別な法律に基づき、宅地開発と鉄道整備が一体的に推進されているTX沿線。開業から20年で大きく変貌を遂げたまちを空から眺めてみよう。

2005年3月
つくばエクスプレスの始発駅で、駅周辺は日本を代表する電気街。



八潮駅

2005年3月
八潮市初の駅開業に伴い、道路や宅地開発など駅周辺の整備が進む。



2025年6月
住宅地のほか、「ものづくりのまち」ならではの工場・倉庫群もさらに増加。

2005年3月
駅周辺には開業時は建物がほとんどなく、TX開業を境に大きく変化したことがわかる。

研究学園駅



2025年6月
駅周辺には、つくば市役所をはじめ、イースつくばなど商業施設がある。

進化する鉄道・進化するまち

TXプロジェクトの
あゆみ

構想から長い歳月をかけて全線一斉開業したつくばエクスプレス。その道のりを、開業からの変化で紐解いていく。



平成17年(2005)8月、秋葉原駅でのつくばエクスプレス発車式(写真提供:鉄道・運輸機構)

筑波研究学園都市とTX
二つの国家プロジェクト



運輸政策審議会の答申から20年、10年以上の建設期間を経て営業運行を開始した

Project 1

研究学園都市の建設で
科学のまち・
つくばが誕生！

東京の過密緩和と科学技術の振興、高等教育の充実を目的として、昭和38年(1963)の閣議了解を経て、昭和45年(1970)制定の「筑波研究学園都市建設法」に基づき、研究学園都市の建設が進められた。現在は、日本屈指の研究・教育機関の集積地帯となっている。



日本有数の「科学のまち」として知られるつくば市

Project 2

首都圏北東部に新たに鉄道を整備する
常磐新線プロジェクトが始動！

我が国の高度経済成長により、首都圏への人口集中が進み、特に首都圏北東部と都心を結ぶ唯一の鉄道である国鉄常磐線の混雑は社会問題となっていた。昭和53年(1978)には茨城県南関東地域交通体系調査委員会が第二常磐線構想等を発表。昭和60年(1985)には、運輸政策審議会答申第7号において、常磐新線は首都圏北東部鉄道空白地域に新たに鉄道サービスを提供するものであり、緊急に整備すべき路線であると位置付けられた。東京～秋葉原～守谷と東京駅を起点とするルートが採用され、守谷～つくばは換

討論線とされた。その後、秋葉原駅が起点とされ、平成元年(1989)には一体化法(※)が成立し、宅地開発と鉄道整備が一体的に推進された。平成3年(1991)には、沿線開発で利益を受ける自治体等が出資して首都圏新都市鉄道(株)が設立され、平成4年(1992)に第1種鉄道事業免許を取得、平成17年(2005)8月に秋葉原～つくばが全線一斉開業した。

※「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」

路線名の由来
一般募集や街頭モニター調査の結果などを参考に決定。首都圏北東部の発展を推進していく21世紀の新しい鉄道として、活力あるイメージを伝えていく。

開業20周年ならではのコラボ企画に注目！

記念すべき2025年を盛り上げる、沿線地域の企業との特別企画も見逃さない。



TXをモチーフにした装飾がかわいい「わくわくトレインルーム」。12月28日まで宿泊可能

東京都台東区 浅草ビューホテル

2025年に開業40周年を迎える浅草ビューホテルとのコラボ企画では、オリジナル列車模型工作や運転士体験を楽しめる夏休みイベントのほか、わくわくトレインルームなどを用意。

☎0570-003-235 (ナビダイヤル)
※台東区西浅草3-17-1 ※TX浅草駅直結



茨城県つくば市 ホテル日航つくば

キャンペーン期間中、レストランセリーナでは来場者にTX20周年記念ノベルティをプレゼント^{※1}。さらに本館1階のTXコラボコーナーでは、TX-3000系の運転席模型などが設置される(〜8月31日)。詳細はホテル公式Webサイトで確認を。

☎029-852-1112 ※つくば市吾妻1-1364-1 ※TXつくば駅から徒歩2分

【キャンペーン期間】レストランセリーナ夏休みファミリーbuffet 8月9〜11日、ビアホール〜9月12日の毎週金曜(8月1日を除く)
※1いずれも数量限定、先着順

茨城県守谷市

スーパードライミュージアム

この夏はつくばエクスプレスに乗ってキンキンDRYを楽しもう！8月31日までに「つくばエクスプレスに乗ってきた！」と伝えようとオリジナルグッズをゲットできる。

アサヒビール茨城工場内にある体験型ミュージアム



埼玉県八潮市

イワグミ

野菜や動物、食品などを消しゴムで表現した「おもしろ消しゴム」で知られるイワグミから、TX開業20周年記念としてTX-3000系の車両をモチーフにした消しゴムが登場！

データは→P31



昭和43年(1968)創業、おもしろ消しゴムは海外でも大人気

TX-3000系の消しゴムが誕生！

コラボ型未来創造を目指す つくばエクスプレスの「これから」

今後とも、地域や社会の皆様から愛される鉄道として進化を続け、沿線の皆様と互いに連携して発展していくことをねらいとして、2050年をターゲットにした長期ビジョンを策定。お客様や沿線の自治体、地域コミュニティ、企業、関

係機関などの皆様とコラボレーションした「TXコラボリング」により、イノベーション先導や社会課題の先進解決で社会をリードするフロンティアを創造する。

TXコラボリング→P14

詳しくはコチラを
チェック！→



2025年8月に20周年！

TX 最新NEWS

開業20周年を迎える2025年は、さまざまな記念イベントや特別企画をお届け！
アニバーサリーイヤーとして、TXと沿線地域の魅力を未来に向けて発信していく。

開業20周年記念 ロゴマークを 発表！

都心部や緑の多い地域、マンションが立ち並ぶ居住区など、さまざまな場所を走り抜けていくTXをあしらい、沿線のまちや人々とともに成長してきた20年をイメージしたビジュアル。TX-1000系とTX-3000系の車両をデザインに取り入れ、開業から現在に至る歴史を表現した。



「開業20周年記念 トレイン」も運行！

2025年4月からTX-2000系二編成のヘッドマークと車体側面に開業20周年記念ロゴマークをあしらった「開業20周年記念トレイン」が2025年12月下旬まで運行している。運行区間はつくばエクスプレス全線(秋葉原〜つくば駅)。運行情報は公式Webサイトで確認を。



運輸と技術の両部門で
活躍するマルチな社員！

ユニール Profile

性格:好奇心旺盛で、新しいアイデアで周りを
楽しませる
特技:スポーツ全般。TXカラーの
幸運を呼ぶ角を持つ
趣味:SNS投稿・楽器演奏・
ファッション研究



開業20周年 記念特設サイト

開業20周年記念動画をはじめ、記念イベントやグッズ情報などを随時発信しているのでチェックしよう！



はじめまして！ 新マスコット キャラクター 「ユニール」です！

スピーディに憧れて、2025年4月に入社したTXの“新入社員”。力強く純粋で、幸運を呼ぶといわれるユニコーンがモチーフ。カラフルなたてがみと尾は、多様性を感じさせ、軽快に駆けっていくユニコーンを、「夢の架け橋」的存在になるというTXの想いに重ねている。

ここがスゴイ！人々が集い、憩うウォーカブルなまちづくり



流山市

TX沿線地域は、駅の徒歩圏内に商業施設や複合施設、公園などが集まっているため、散策にぴったり。少し足をのばせば、自然が残っている地域も多く、癒やしスポットも点在。イベントやマルシェなどもチェックすれば、さらに楽しみが広がる。

駅直結の「流山おおたかの森S-City」などがあり、おしゃれな街並みが人気の流山市



柏市

歩きやすい環境づくりを進めている柏の葉には、開放的な空間もいっぱい
写真提供：三井不動産

ここがスゴイ！科学の力で多様な幸せを！「つくばスーパーサイエンスシティ構想」

「スーパーシティ型国家戦略特別区域」に指定されているつくば市では、最先端技術を活用したサービスを社会実装することで、社会課題を解決しながら革新的な暮らしやすさを目指している。パーソナルモビリティなど、さまざまな分野のプロジェクトが進行中だ。



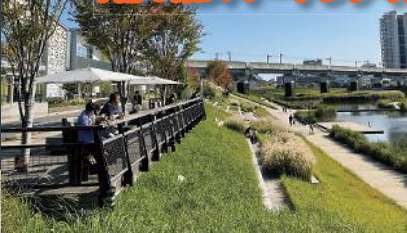
自動運転バスの走行実証も実施
写真提供：つくば市



つくば市

パーソナルモビリティのシェアリングサービス「つくモビ」の実証。写真提供：つくば市

ここがスゴイ！世界の先駆けとなるまちづくりに挑む「柏の葉スマートシティ」



柏市

先進的なまちづくりで、人にも環境にもやさしいスマートシティとして注目を集める柏の葉エリア。内閣府が認定する「Greater Tokyo Biocommunity」の拠点の一つにも選ばれており、バイオ系やライフサイエンス系を中心とした研究開発機関の集積も進む。

公・民学の連携により、全世代が健やかに暮らせる街を目指す

写真提供：三井不動産



ここがスゴイ！

20年間で人口が23%超増加！2045年頃まで増加する見込み

TX開業から20年、沿線11市区の人口は40万人以上も増加。国立社会保障・人口問題研究所の日本の地域別将来推計人口(2023年12月公表)によると、沿線エリアは2045年頃まで人口増加が見込まれている。



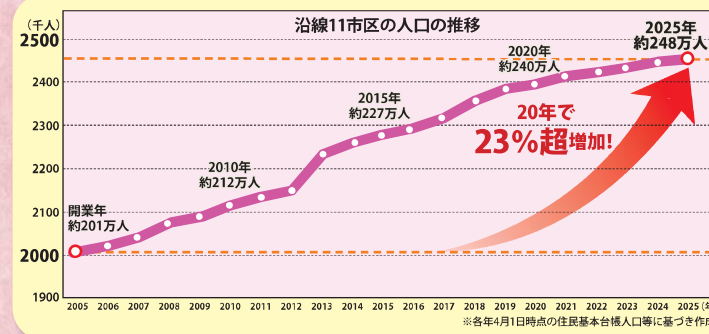
流山市

10年間で約4万人増の千葉県流山市。35～39歳代や子どもの人口が増えているという



つくばみらい市

みらい平の宅地開発などで人口増加中の茨城県つくばみらい市



魅力とポテンシャルにあふれた

TX沿線のまち

開発が進みながらも、まだまだ可能性に満ちあふれているつくばエクスプレス沿線。今もなお進化し続ける沿線地域のスゴさがこちら！

ここがスゴイ！「子育てしやすい」な首都圏主要路線第1位！

日経リサーチの「子育てしやすい」な首都圏主要路線ランキング(2024年7月公表)で、トップに輝いたつくばエクスプレス。都心へのアクセスや住環境の良さに加え、人口増加の背景から「将来性」も評価されたようだ。

流山市では市内の指定保育所(園)をバスで結び、登園・降園できるシステム「送迎保育ステーション」を実施



流山市



守谷市

守谷市の屋内遊育施設「あそびの森もりっ子」(→P27)

荒川区

沿線には広々とした公園も多数。写真は荒川区の「都立汐入公園」(→P21) 写真提供：(公財)東京都公園協会

自然環境保全活動 「守谷野鳥のみち」の整備

茨城県守谷市にある「守谷野鳥のみち」は、林地・湿地からなる総延長4.8kmの遊歩道。守谷市観光協会の市民ボランティアが主体で整備する手づくりの本格的な木道は、県北産ヒノキを自分たちで加工するなど、さまざまな工夫を凝らしている。平成29(2017)年度からはつくばエクスプレスも自然環境保全活動の一環として協力している。



2024年は、17名の社員が遊歩道の防腐塗装作業に参加しました



豊かな自然が残り、野鳥などの生態系との共生が魅力。隣に守谷城址があり、自然観察と歴史探訪を楽しめる。野鳥は100種以上(→P31)



NECグリーンロケッツ東葛 プロモーション活動



つくばエクスプレスは、ジャパンラグビーリーグワン所属のNECグリーンロケッツ東葛とプロモーションパートナー契約を締結し、連携して地域貢献活動や多彩なイベントを実施している。ホストスタジアムである柏の葉公園総合競技場の最寄り駅・柏の葉キャンパス駅には、横断幕や駅名標を掲出。さらに、シーズン中の一部駅では現役選手による構内放送が流れるなど、TX沿線全体でチームと地域を盛り上げる取組を展開している。

柏の葉キャンパス駅の駅名標がコラボデザインに1上2線に1枚ずつ設置されている

子どもたちに TXの環境への取組などを伝える 「学ぼう! TX講座」

沿線地域の小学生を対象に、平成28(2016)年度から定期的に開催している講座。これまでに三郷市、流山市、柏市、守谷市、つくばみらい市と連携し、つくばエクスプレスの環境への取組などを紹介してきた。2025年2月には筑波技術大学の学生と一緒に、ユニバーサルデザインをテーマとした視覚・聴覚障がいについての講義や、列車内でユニバーサルデザインに関するゲームを実施。講座で使用する専用列車の運行には、使用電力相当分のグリーン電力証書を購入し、CO₂排出の抑制にも貢献している。



2024年に守谷市で行われたTX講座の様子



グリーン電力証書

TXコラボリングで鉄道もまちも進化!

地域の皆様との

コラボ型未来創造

沿線の自治体、企業、教育・研究機関などと多様なパートナーシップを築きながら、人・街・知をつないでいる。沿線価値を共に創る、独自の取組にも注目だ。

つくばエクスプレス 駅機能のあり方勉強会

つくばエクスプレスの開業20周年を前に、2024年10月に有識者や沿線自治体、企業などによる「駅機能のあり方勉強会」を発足。より地域に根ざし、愛される鉄道を目指して、地域の顔である「駅」に焦点を当て、つくば駅をモデルに4回にわたって議論を重ねた。駅の印象や案内サインの改善といった課題整理ができ、今後は具体化に向けたロードマップを策定予定。また、この勉強会

を通じて鉄道事業者・自治体・民間・大学などとの連携が生まれたことから、今後も駅とまちづくりの“共創”を進める場として発展させていく。

ほかのTX駅でも同様の取組を実施し、沿線全体の価値向上を目指していきます



「駅機能のあり方勉強会」は2025年2月までに全4回行われた

誰でも自由に演奏できる TX初の「駅ピアノ」が登場

2024年7月、研究学園駅改札外コンコースに、誰でも自由に弾くことができる「駅ピアノ」が設置された。TXの駅では初の試みで、

つくば市内に本社を構えるホテルベストランドが企画・管理。駅を訪れた人たちのささやかな交流のきっかけとなっている。



演奏できる時間は9時30分～20時

ウォーキングで 地域の魅力を再発見! TX沿線トリップウォーク

TX沿線の自治体と共同で開催しているウォーキングイベント。テーマに沿ったコースが設定されており、そのエリアのおすすめスポットを巡りながら、気軽に小旅行気分を味わえる。次回は2025年11月15日につくばエリア、11月29日に柏の葉キャンパス駅周辺エリアで開催予定。イベント当日にコースを完歩すると、オリジナル缶バッジがもらえる。事前申込み・参加費は不要なので、気軽にチャレンジしてみよう! ※本イベントでは、デジタルスタンプラリーのプラットフォーム「みんラリ」を利用します。



2025年5月に開催された南流山・流山おおたかの森エリアでのイベントの様子

歩きながら、沿線地域の風景や歴史・文化などを楽しんでください!



住みたい
ワケ

とっておきの体験ができる！
休日レジャーも楽しみ



つくば市

つくばサイエンスツアーバス
つくば市内6つの研究教育施設をめぐる循環バス。土・日曜、祝日限定で、1日9便運行(北回り:2施設5便、南回り4施設4便)。運賃190円～。

沿線には最先端技術を学べる研究教育施設や収穫体験ができる観光農園などがあり、ご近所トリップが楽しめる。ファミリーや友人とお出かけしたくなるおすすめスポットがいっぱい。



つくば市

つくばワイナリー
筑波山麓で約7000本のブドウを栽培。ワインは併設のショップで購入可。テイスティング(有料)もできる。☎029-893-5115(不在の場合は090-3908-5115) ②TXつくば駅から車で25分

つくば市

つくば野菜収穫体験

つくばエリアには収穫体験を楽しめる観光農園が多い。季節の野菜のほか、イチゴやブルーベリーといった果物を楽しむスポットもある。写真はアオニサイファーム。



柏市

柏たなか稲作体験

柏市のTX沿線エリア(田中地域、柏の葉地域)に在住者を対象に、田植えや稲刈り体験などで農業を学べるイベントを開催している。

つくば市



充実した環境で、多様な知識に触れられる。写真は柏の葉キャンパス駅前

柏市

住みたい
ワケ

豊かな感性を育む
教育・文化施設が充実！



つくば市「JAXA 筑波宇宙センター」

国や企業の研究施設が集積するつくば市をはじめ、東京大学や千葉大学などの教育施設が点在する柏市、「日本一の読書のまち」を掲げる三郷市などがあり、教育・文化活動が活発なTX沿線。学びの場が豊富にあることは、子育て世代にとって大きな魅力だ。

住みたい
ワケ

自然がいっぱい！
思いっきり遊び尽くせる



流山市

流山市「大井(おおくる)の森」



柏市

柏市「こんぶくろ池自然博物館」

都市と自然が融合した沿線地域には、少し足をのびればアウトドアレジャーを満喫できるスポットも。整備された街のそばに豊かな自然が広がり、ハイキングやサイクリング、自然観察などを気軽に楽しめる。

茨城県のシンボル・筑波山。お得なきつぽも販売(→裏表紙)

住みたい
ワケ

都心へのアクセス抜群！
通勤・通学、
お出かけも快適♪

「安全・安定・安心」輸送のTXは、通勤・通学はもちろん、お出かけにも最適。秋葉原駅からつくば駅まで最速45分、普通でも57分と、1時間以内でアクセスできるスピード感が魅力だ。

乗換もスムーズで、目的地へのアクセスもラクラク

知れば知るほど、住みたくなる！

TX沿線で暮らそう

「住んでみたい」エリアとして注目を集めるTX沿線には魅力がいっぱい！
多彩な暮らし方、楽しみ方が待っている。

住みたい
ワケ

子育てに最適な
住み心地のいいまちづくり

若いファミリー世代の移住が増えているTX沿線では、パパ・ママをサポートするサービスが整っている。各自治体で取り組んでいる相談・支援はもちろん、遊び場などのコミュニティスペースも充実。自分たちのライフスタイルに合わせて、安心して子育てできる。



三郷市

流山市

写真提供：三郷市

柏市

子育てを応援する自治体が多く、若い世代に人気。
写真は三郷中央駅(上)、荒川河川敷(左)

足立区